

実行委員長の挨拶

松島松翠（JA長野県厚生連佐久総合病院名誉院長）



全国からお集まりの皆さん、こんにちは。実行委員会を代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。今集会の参加者は、明日と合わせますと約2千人だということですが、皆様方を心から歓迎申し上げます。

ただいまお話しがあったように、87年からこの集会は1年おきに行われておりますが、今回は第10回目で長野で開くことになりました。そこで私たちも実行委員会を作り、準備を重ねてまいりましたが、実行委員会には協同組合の関係の皆様方だけでなく

医療福祉の関係の方、あるいはNPO、労働組合、文化団体、それから市民、農民の方々にたくさん参加していただきました。先ほどのオープニング、あるいはここに飾られているいろいろなこと全て市民、農民の方々にやっていただいたわけでございます。

長野県は昔から貧しい山国と言われておりますけれども、平均寿命は男性が全国第1位、女性が第3位ということでありまして、老人医療費が全国最低ということでございます。なぜそうなったかということは、いろいろ議論があるところですが、私どもとしては保健福祉の先進的な取り組みが多少関係しているのではないかと考えております。

今日は田中知事さん、堀内光子さんの対談、それから寺島実郎さんの基調講演、リレートークなどがございます。また、明日は14分科会に分かれまして、いろいろなテーマについて討議することになっております。この中で特に長野県が今まで取り組んできた協同の取り組みやあるいは新しい公共の流れを是非掘り起こしまして、皆さん方と一緒に討議し、お互いを深め合いたいと考えております。よろしく申し上げます。また夜は人数の制限があるのですが、特に他の県から参加した方を優先的に、長野県の名物と名酒を用意しましたので大いに交流して頂ければありがたいと思っています。

最後に付け加えたいことは、ご承知のように23日に新潟中部地震がございました。大変な被害でして、私たちも隣の県ですから本当にビックリしましたが、次の日の24日から第一次の救援隊を送りました。今、第三次隊くらいが行っておりますが、私の仲間たちも向こうへ救護班として行っております。これこそ協同の運動じゃないかと思っています。これを機会にますます協同の力を強めていかななくてはいけないのでは

ないかと思っております。新潟の被災者の皆さんにできるだけ援助をしたいので、今日・明日と募金活動をやりたいと思っています。皆様方に是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

それでは今日と明日の2日間が、皆様方にとりまして大いに実りあるものになるように念じまして、ご挨拶に代えさせていただきますと思います。ありがとうございました。

